

令和6年度（2024年度） 兵庫県立西宮高等学校 学校評価一覧表

			主な担当部署	項目	平均値									現状に対する分析	分析結果に対する方向性		
					教職員アンケート			保護者アンケート			生徒アンケート						
評価項目	重点目標	具体的取組			2024年	2023年	2022年	2024年	2023年	2022年	2024年	2023年	2022年				
信頼される開かれた学校づくり	保護者、地域との情報共有	ホームページ情報発信 学校説明会	総務・年次・SS	(a)	年次通信・ホームページなどの情報発信がされ、学校・保護者との情報共有がなされている。	3.43 (85.8%)	3.53 (88.3%)	3.61 (90.3%)	3.40 (85.0%)	3.50 (87.5%)	3.43 (85.8%)	3.40 (85.0%)	3.38 (84.5%)	3.28 (82.0%)	定期的に年次通信やeメッセージで保護者に配信する等、組織的に情報発信に力を入れて取り組んできた。発信した情報に気づいてもらえていない可能性がある。	学校ホームページを中核としながら、Teamsやeメッセージ等のクラウドサービスを活用し、発信した情報がより確実に教職員及び保護者と共有できる方法を模索する。また、県西ブログの更新頻度を上げ、より多くの保護者に学校の様子をご覧いただけるように努力する。	
	生徒、保護者との相談体制や環境の整備	教育相談 学校安全 環境整備 人権指導		年次・保健・総務・生徒	(b)	生徒や保護者からの、主に学校生活や個人的な悩み等に関する相談体制が整っている。	3.27 (81.8%)	3.23 (80.8%)	3.38 (84.5%)	2.88 (72.0%)	2.91 (72.8%)	2.78 (69.5%)	2.93 (73.3%)	3.02 (75.5%)	2.93 (73.3%)	面談週間の設定して活発に面談を行い、いじめアンケートを実施した。多様になった悩みに対してカバーしきれていなかったり、長時間あるいは勤務時間外の電話対応に応じざるを得ないケースもある。	定期的な面談を実施するとともに、各部・年次と連携をとり、普段から気軽に相談できる環境づくりに努める。
					(c)	教育目標や特色、または地域の期待に応じた学習環境整備がなされつつある。	2.93 (73.3%)	3.13 (78.3%)	3.09 (77.3%)	3.02 (75.5%)	3.02 (75.5%)	2.97 (74.3%)	3.22 (80.5%)	3.04 (76.0%)	2.96 (74.0%)	各教室に設置されたプロジェクターを活用できるようになってきている。校内Wi-Fiの接続不良が頻発し利用が難しいケースも多かった。	さらにICT機器に関しての校内研修・研究授業等を行う必要がある。また、校内Wi-Fiの改善ができるように働きかけていきたい。
教育の質の向上	学習意欲を高める教育内容の展開	教育課程 学習指導	教務・各教科	(d)	普通科・音楽科のそれぞれの特色を生かす教育内容が工夫されている。	3.08 (77.0%)	3.27 (81.8%)	3.23 (80.8%)	3.04 (76.0%)	3.00 (75.0%)	2.96 (74.0%)	3.02 (75.5%)	3.20 (80.0%)	3.17 (79.3%)	普通科は多様な選択科目がある一方、入試に必要な科目が増えることで、選択の自由度がほとんどない生徒もいる。音楽科は地域の公共ホールでの演奏会や交流演奏会を通して専門性の向上を目指した。	普通科は選択科目の精選を進めるとともに、それぞれの科目の中身の充実を図る。音楽科は、基礎的な学力の定着をめざしてより丁寧な指導が必要となる。特色のアピール方法をさらに模索する。活動内容を深化させるとともに、幅広い層へ広報できる方法を検討する。	
				(e)	定期的な補習や学力不足を補う補充授業など生徒の能力・適性・ニーズに応じた指導が行われている。	3.35 (83.8%)	3.30 (82.5%)	3.30 (82.5%)	*			3.19 (79.8%)	3.19 (79.8%)	3.13 (78.3%)	平常補習や長期休業中の補習を実施した。3年次については、12月考查以降の午後や1月下旬以降の家庭学習期間も補習授業や個別添削指導を実施。連日70～100名程度が登校した。	来年度も今年度に準じた取組を展開する予定。年次毎に生徒の特性も異なるので、年次団との意思疎通を図りつつ、その状況と生徒のニーズに応じた指導を展開していきたい。	
	教員の授業力、指導力向上		教務・各教科	(f)	授業は工夫されて生徒の興味関心を高め、学力向上につながるものとなっている。	3.25 (81.3%)	3.30 (82.5%)	3.25 (81.3%)	*			3.25 (81.3%)	3.14 (78.5%)	3.07 (76.8%)	生徒の学力や興味関心の向上のために、研究授業や職員研修を通して、教員どうしが授業スキルや教材を学び合い、高め合っている。	生徒の学びがより深いものになるために、研究授業の更なる活性化や生徒アンケートの活用を進めていく。	
	進路指導の整備、勤労観・職業観の育成	進路指導 キャリア指導	進路・キャリア教育推進・年次	(g)	最近の進路指導実績は、生徒・保護者の期待に応えるものになっている。	3.28 (82.0%)	3.07 (76.8%)	3.16 (79.0%)	2.92 (73.0%)	2.99 (74.8%)	2.95 (73.8%)	3.14 (78.5%)	3.13 (78.3%)	3.08 (77.0%)	国公立大学合格数は、過去3年、82→78→97と推移し一定の成果を上げているが、アンケート結果からは、さらなる実績向上を求める要請を感じている。特に保護者の評価が厳しく、その要望の強さが窺われる。	進路希望の傾向はここ数年あまり変わらない一方で、年次毎による違い、少子化や新課程入試の導入等によって進路指導の環境が毎年変わる中、情報の収集・分析とそれを踏まえた臨機応変の対応が必要であると強く感じている。各年次団と連携しながら、常に情報をアップデートし、指導を充実させたい。	
				(h)	生徒や保護者からの、主に学習や進路に関する相談体制の整備や、適切な情報発信が行われている。	3.20 (80.0%)	3.33 (83.3%)	3.30 (82.5%)	2.96 (74.0%)	2.99 (74.8%)	2.95 (73.8%)	3.11 (77.8%)	3.22 (80.5%)	3.14 (78.5%)	生徒に比べて、保護者が進路に関する相談をする機会が少なく、保護者に伝わっていない様子が窺われる。個々の生徒・保護者に対してのアプローチを考える必要がある。	多くの生徒に関わる進路情報はTeamsやeメッセージ等も活用しながら積極的に情報発信しつつ、個々の進路希望に応じた進路指導イベントや個別相談をより一層充実させたい。	
				(i)	進路意識を高める様々な授業(リサーチⅠⅡ・課題研究・年次集会・講演会・個別面談等)が有効・適切に実施されている。	3.30 (82.5%)	3.37 (84.3%)	3.30 (82.5%)	*			3.18 (79.5%)	3.16 (79.0%)	3.09 (77.3%)	7月の保護者対象進路講演会は好評であった。生徒対象の進路関連行事も多く増やすことは難しい。普通科1年次のリサーチに関しては生徒からの評価も高い。2年次からの課題研究に関してはさらなる働きかけが必要である。	個々のイベントにとしては、事後アンケートで高い評価になっているので、今後も精査しながら継続していきたい。2年次の課題研究においては、より進路に結びつける働きかけを工夫していきたい。	
				(j)	人権学習や人権講演会など、人権を尊重した適切な学習が行われている。	3.13 (78.3%)	3.30 (82.5%)	*	2.90 (72.5%)	2.97 (74.3%)	*	3.10 (77.5%)	3.30 (82.5%)	*	「多様な性(LGBTQ)」について考える」というテーマで人権啓発集会を実施した。また、各年次ごとにテーマを設定し人権学習を実施。保護者からの評価はやや低いものとなっている。	各年次の人権担当と連携し人権に関する学習の機会を充実するとともに、保護者に対しても積極的に情報を発信していくことを考える必要がある。	
自主・自立の精神の育成	基本的生活習慣の確立と規範意識の向上	清掃 生活指導 集団指導	生徒・総務・年次	(k)	生徒に対する諸規定(制服・頭髪等)の設定はほぼ適正である。	3.25 (81.3%)	3.23 (80.8%)	3.02 (75.5%)	3.22 (80.5%)	3.29 (82.3%)	3.07 (76.8%)	2.97 (74.3%)	3.08 (77.0%)	2.91 (72.8%)	今年度より「標準服制度」を導入し特に大きなトラブル等なく運用できた。タブレットの使用に関しても概ねルールを遵守し有効に活用していると感じる。教職員・保護者と比べて生徒からのアンケート評価が少し低い。	私服については粘り強くルールの徹底と生徒の自覚を促していきたい。また全生徒がタブレットを所持しておりスマートスクール推進部と連携をとり、ルール作りと徹底を協議していきたい。また、多様な世の中において、必要な規定について議論を重ねていく。	
				(l)	清掃活動が計画的に行われ、校内美化意識が養われている。	2.77 (69.3%)	3.03 (75.8%)	*	3.14 (78.5%)	3.24 (81.0%)	*	3.15 (78.8%)	3.09 (77.3%)	*	日々の清掃活動に加え、長期休業前後に大掃除を実施している。また年2回部活動清掃を実施し校内全体の美化活動に努めた。予算不足の為、掃除用具の充実を図ることができなかった。教職員からのアンケート評価が低い原因の1つと考えられる。	少しずつではあるが、美化意識の高まりを感じる。しかし、トイレ改修工事のなされていない所は、早急に全面改修が望まれる。また、学校説明会の前日の大掃除も、時間を取って実施してより一層校内の美化に繋げていきたい。	
	部活動、行事などの活性化	生徒会指導 部活指導 諸行事	生徒・年次	(m)	学校行事(定期戦・文化祭・体育大会等)は活発に実施されている。	3.57 (89.3%)	3.47 (86.8%)	3.21 (80.3%)	3.44 (86.0%)	3.50 (87.5%)	3.22 (80.5%)	3.37 (84.3%)	3.32 (83.0%)	3.14 (78.5%)	県西祭では新たな取組として、auペイによるキャッシュレス決済、エコトレイによる商品の提供、パンフレットをデータ送信することでのゴミや紙の削減となった。その他、定期戦・体育大会・冬季文化発表会なども理事会中心に活発な行事として終えることができた。アンケート評価も高い。	理事会と連携を取り、誰もが楽しめる行事の企画・運営に努める。また、キャッシュレス決済等、引き続き取り入れ、現在の生活様式に合った取組を検討・協議する。	
				(n)	部活動や生徒会活動は活発に実施されている。	3.63 (90.8%)	3.37 (84.3%)	3.32 (83.0%)	3.45 (86.3%)	3.50 (87.5%)	3.30 (82.5%)	3.50 (87.5%)	3.51 (87.8%)	3.38 (84.5%)	入部率は、運動部60.9%、文化部27.5%であり、多くの生徒が文武両道を目指して活発に取り組んだ。理事会活動では主体的に新しく楽しめる企画や現在の生活様式に合った行事の在り方を検討・協議し活動した。アンケート評価もすべて高い。	理事会活動は引き続き、主体的に活動できるよう促していきたい。部活動についても積極的に入部を推奨し文武両道を実践しバランスのとれた学校生活を送れるよう促していきたい。	
学校生活全般に関する満足度(10段階)					*	*	*	*	*	*	7.06 (88.3%)	*	*				
回答率					82.2%	41.1%	78.1%	91.0%	53.7%	99.3%	91.7%	68.4%	94.8%				

*は該当項目なし
職員アンケート評価基準（4段階）
保護者・生徒アンケート評価基準（4段階）

4 達成できた 3 概ね達成できた 2 あまり達成できていない 1 達成できていない
4 そう思う 3 どちらかといえばそう思う 2 あまりそう思わない 1 そう思わない